



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、7-16 Sugawara-cho、Kawagoe、Saitama 350-0046 Japan

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 18-12

12月号

発行 2016年12月5日

Chartered 1998

会長	吉野 勝三郎	クラブ会長主題	「東日本区大会を成功させよう！」
副会長	林 京二	国際会長主題	「Our Future Begins Today 私たちの未来は今日より始まる」
	松川 厚子		
会計	山崎 純子	アジア会長主題	「Respect Y's Movement ワイズ運動を尊重しよう」
書記	森下 千恵子	東日本区理事主題	「For the Future, Act Today 明日に向かって、今日動こう」
		関東東部部長主題	「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

12月

幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。(ルカによる福音書、2章40節)

The child grew and became strong; he was filled with wisdom, and the grace of God was on him. (Luke2-40)

### 2016年11月の統計 (11月26日)

在籍11名 出席者9名 出席率82%

### 12月例会のお知らせ

日時：12月17日(土) 午後4:00～

場所：川越センター

- ・河合さんの入会式
- ・ボランティアリーダーズ・フォーラム参加報告
- ・クリスマス例会です。プレゼント交換(1000円前後のものをお持ちください。)

### 11月例会報告

吉野 勝三郎



ワオ！ワオ！2人の山本ジュニアを含めて19名の参加者を得ました。写真をご覧ください。(撮影者の河合今日子川越センター長がいました。)ワイズの力を感じる例会となりました。

ワイズソング、ワイズの信条唱和、テーブルには関東東部20周年記念品のミニバナースタンド、メインゲストは元ボランティアリーダー 今西洋太(いまにし ようた)さん、彼を慕って参加してくれた元浦和センターのリーダー、現リーダー、埼玉YMCA総主事の小谷全人さんまで参加してくれました。

インビテーション・キャンペーンとして、過去のリーダーが卓話者として戻ってきてもらえたことは、何よりの喜びです。今西さんは、結婚され、二児のパパ。Time flies!! 私は老いるはず。

卓話は、まずは彼の本職、スターバックスコーヒージャパン社の社員として、下記のような話がありました。

日本でのスターバックスの黎明期に入社して15年。いくつかのお店を経験して、現在は本社の店舗開発本部・店舗開発戦略部・戦略企画推進チームに所属。

(もらった名刺には Coffee Master の肩書きもありました。)彼が責任者の店舗では、離職率が低く、全社的な表彰対象になったこともある。

スターバックスは、日本を含めて60ヶ国に進出。日本では、すべての都道府県に店があり、現在1,212店舗を数える。中国では、毎日1軒新規オープンしている。

いよいよ、持参してもらった、スターバックスのコーヒーの試飲です。

コーヒーの楽しみは；

- ー香り
- ー酸味
- ーコク
- ー苦味

その中でも、“香り”が大切で、その重要性を、鼻を強くつまんで、果物味のグミを食べるデモで実演してくれた。飲むときは、空気を混ぜるように、ズルズルと音をさせながら口に入れて、舌の上にしばらくのせて楽しむのがコツ。などなどー。コーヒーについて知りたい方は、今西さんを招いてください。

肝心な、YMCAのリーダーとして学んだことについては；

- － “誰のために”
- － “つながる喜び”

というキーワードを紹介してくれました。彼は、今も、YMCAで学んだこの2つのことを常に念頭において生活しているそうです。それは、まさにYMCAにのめり込んだ4年間の学生時代、1,080回のリーダーとしての活動、234,800man・dayに達する多くの人との触れ合いの賜物であるとの、嬉しい証言でした。その中には、二度に亘るアメリカ・フォレストバレーでの奉仕も含まれています。

例会後は、場所を移しての会食にも参加され、楽しいreunionとなりました。彼の子供さんが一人で参加できる年齢になったら、キャンプなどYMCAの催しに送り出したいと言ってくれましたので、まもなく、彼の2世と川越センターで会えることを楽しみにしています。

## 第11回東日本区大会実行委員会

松川厚子

11月18日にウエスタ川越で行われました。今回は、利根川理事がお休みのため、吉野、大澤、小関、衣笠、吉田、松川でプログラムムの内容を詰めていきました。

まず6/2のゴルフコンペは、牛村・鎌田さんが担当です。6/3は、スタッフは、9時集合。

担当は、メネットアワーは大澤・東さん。

担当主事の会は小関さん。ユースの会は調整中。

一般の受け付けは15時30分～16時で、講演のあと17時30分～18時に歌うキャンプソングの案内を受付に置き、司会からも案内する。フェローシップアワーの会場であるエルミタージュへの道案内と地図を作成する。一般向けチラシには、YMCAとワイズメンズクラブ、キャンプソングの説明を加える。晚餐会まで休憩を30分とるが、ホテルにチェックイン時間前に荷物だけ預かってもらえるようにする。6/4の、献金チーフは、上松さん。礼拝プログラム等は小関さんです。エクスカージョンの担当は小関・衣笠・大澤さんです。受付全般は松川・森下さんです。

今後共皆様のご協力をお願いいたします。

## 第20回東日本区ワイズメネットのつどいに参加して

吉田公代

11月26日(土)東京YMCA東陽町センターにて開催されました。58名の参加者でした。前回熱海で開催されたのに次いで2回目の参加となりました。

諸先輩方の独特のキャリアを感じさせる、雰囲気にもまたも圧倒され、席に着きました。

川越クラブからは、山崎さん、松川さん、利根川さん、私と参加致しました。

相磯委員長の開会のあいさつから始まり、栗本次期理事の祝辞、そして委員会報告があり、食事をはさみ、NHKアナウンサーの武内陶子さんの講演がありました。

言葉を生業として生きてきている日々の葛藤のお話し、紅白歌合戦の総合司会をしたときの、興味深々のぶっちゃけトークが楽しかったです。

「初心忘るべからず」は世阿弥のことばですが、「初めの志を忘れてはならない」という意味で使われていますが、世阿弥が意図するところは少し違いますと講和の中で話されました。

世阿弥の意図する「初心」とは、新しい事態に直面した時の対処方法で、晩年を過ぎた頃に書かれた「花鏡」にまとまった考えを述べていて、すなわち、「ぜひ初心忘るべからず」「時々の初心忘るべからず」「老後の初心忘るべからず」3つの「初心」について語っています。(詳しくはビジネスパーソンに捧ぐ世阿弥のことば)

「初心忘るべからず」それまでに経験したことがないことに対して、自分の未熟さを受け入れながら、その新しい事態に挑戦していく心構え、その姿を言っています。その姿を忘れなければ、中年になっても、老年になっても、新しい試練に向かっていくことができる。失敗を身につけよということなのです。

武内陶子アナウンサーの心にすっと入っていく、声と話し方で、私の心に残りました。

さあ～、これからの私は失敗を恐れずに、新しいことに挑戦をしてゆくことを前向きに考えたいと思いました。

素敵なワイズメネットのつどいでした。お誘いして頂き、感謝いたします。

## YMCA 報告

《11月23日 埼玉YMCAフェスティバル&会員大会のご報告》

11月23日、肌寒い中での開催となりましたが、埼玉YMCAに連なる約300名の方々が来場されました。

今年は、クローバークラブ川越に在籍している中高生10名も職業体験の一環として出店しました。お店の名前は「YMボンボン」。クラスの中で自ら制作した毛糸のボンボンや、小物などを販売しました。看板や、販売マニュアルなども自分





たちで制作し、お客様には「さすが中高生だね！」と言われ、売れ行きも好調でした。また、販売と休憩の間には、被災食を配りながら熊本地震への街頭募金も行いました。慣れない経験で疲れ果ててしまったメンバーもいましたが、最後までやり抜いたという達成感で満ち溢れてあふれているメンバーも大勢いました。今回も充実した時間を過ごすことができ、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

また、当日は2015年度埼玉YMCA会員大会も行われました。フェスティバルと同時開催という新しい形の会員大会には、約30名の会員が集まり、総主事による活動報告がありました。

【2016年埼玉YMCAフェスティバル&会員大会動画】

[https://www.youtube.com/watch?v=nkHQas\\_xGT4](https://www.youtube.com/watch?v=nkHQas_xGT4)

#### 《フィリピンワークキャンプ参加者募集中》

長い歴史を誇るフィリピンワークキャンプを3年ぶりに実施します。

28回目を迎えるこのキャンプは、日本から参加するボランティア、現地YMCAに集うボランティア(大学生や社会人)、村民が集い、共に生活しながら村でのワークに取り組めます。文化の違いや言葉の壁に直面しながらも、肩を並べてワークに励む参加者たちは、互いのやさしさに触れ、歩み寄る勇気を見つけ、目に見えない大切な気持ちを育てて毎年帰国しています。

事前説明会は随時開催しています(所沢、浦和、川越センターにて)ので、お問い合わせください。

【日程】2017年2月17日(金)～2月28日(火)11泊2日

【場所】フィリピン共和国パンガシナン州

【参加資格】16歳以上の方

【募集人員】20名

【内容】地域社会のための生活インフラ整備等のワークやその他の支援活動・ホームステイ・村及び小学校でのレクリエーション活動・交流等

【費用】185,000円(予定)

【申込/問い合わせ】所沢センター 国際・語学教育部  
04-2939-5051

[international@saitamaymca.org](mailto:international@saitamaymca.org)

【パンフレットのダウンロード】

<http://www.ymcajapan.org/saitama/information/pdf/2016/20161026pwc.pdf>

#### ～川越センター一年末年始休館のお知らせ～

2016年12月30日(金)～2017年1月9日(月)まで休館となります。

今年も皆さまのご支援、ご協力をいただきましてありがとうございました。

来年も引き続き、お力添えをいただきますようお願いいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。

===編集後記===

#### — スターバックス番外編 —

今回の卓話でコーヒーの起源の話がありました。

エチオピアのヤギが山腹の木に実る赤い実を食べると興奮して夜も眠らない。その実が眠気覚ましとして使われるようになったのがコーヒーの始まりだとか…。ちなみにそのヤギ飼いの少年の名前がカルディ。んっ、どこかで聞いたことのある名前。

この話を新聞の片隅から見つけて連れ合いに読んだところ、出来すぎた話に「んなわけないだろう！なんか危ない葉っぱでも食べたんじゃないの(失礼いたしました。)」と言いつつこの俗説を楽しんでいました。

ヨーロッパのカフェ文化の始まりは、オスマントルコによる二度のウィーン包囲の失脚のあとに残されたコーヒー豆がはじまりと言われていますが、これも俗説です。

スターバックス1号店のあるシアトル、カフェの都ウィーン(ウィーンは2001年からスタバがあります。)。どちらの都市も雨が多く寒くて長い冬の道中カフェに寄り道せずにはいられないためカフェが多いとのこと。これは、たぶん本当のだと思います。



パイクプレイスのスターバックス1号店



キャピタル・ヒルのロースタリー 今西さんによると「チャリーとチョコレート工場」をイメージしているそうです。